

目 次

1 . 研究の背景と研究目的	1
(研究の背景) - フローからストックへ、カーボンオフセットからカーボンバランスへ	1
(研究の目的)	3
2 . 研究方法とデータ	4
2-1 森林系炭素吸収量・蓄積量の推計	4
(炭素フロー：森林炭素吸収量)	4
(炭素ストック：森林炭素蓄積量)	5
2-2 土壌系炭素蓄積量の推計	6
(炭素ストック：全土壌炭素蓄積量)	6
(炭素ストック：湿地炭素蓄積量)	7
(炭素ストック：森林土壌炭素蓄積量)	7
2-3 炭素ストック：森林・湿地・農地土壌各ストックへの再構成	8
3 . 研究結果	9
3-1 炭素フロー：森林炭素吸収量	9
(日本の森林の現況)	9
(森林炭素フロー：所有別)	9
(人工林 3.9%吸収源シナリオ)	14
(天然林付加 3.9%吸収源シナリオ)	14
(森林炭素フロー：地域別)	16
3-2 炭素ストック	20
(森林炭素蓄積量)	21
(森林土壌炭素蓄積量)	21
(全土壌炭素蓄積量)	21
(全土壌炭素蓄積量：地域別)	22
(湿地炭素蓄積量)	22
(湿地炭素蓄積量：地域別)	23
3-3 炭素ストック：森林・湿地・農地土壌各ストックの状況	41
(市区町村面積、総炭素ストック量、単位当たり炭素ストック量)	41
(森林系)	41
(農地土壌系)	41
(湿地土壌系)	41
(農地・湿地・森林土壌複合系)	41
4 . むすび	45
(参考文献)	46
(付表 1) 森林 CO ₂ 吸収量：都道府県別	48
(付表 2) 森林・湿地・農地土壌 比較表：都道府県別	49
(付表 3) 土壌群：都道府県別	50
(付図)	51